

JAFFE2022年度活動報告

2022年度の学会活動について、1 大会・総会、2 研究会、3 幹事会の順で報告します。

1 大会・総会

日本フェミニスト経済学会は、2020年1月以降の新型コロナウイルス感染症の流行に伴いオンライン開催が続いていましたが、2022年大会は基本的には対面、一部ウェブ会議アプリ Zoom を使用したハイブリッド型開催としました。会員のみなさまのご協力により、これまでの大会と同様に、自由論題、共通論題、総会の一連のプログラムを滞りなく終えることができました。共通論題では、現実の政治経済秩序に強く作用し、人びとの生をつなぐプロセスに深刻な影響をもたらす家父長的世帯主義の観点から政治・権力におけるジェンダー不公正をとらえるべく、4人の報告者と4人のコメントーターに登壇いただき、重厚な議論を展開することができました。ようやく対面開催（一部ハイブリッド方式）となり、また総選挙前の現在進行形の課題を扱ったこと也有って、全国から会員、非会員ともに85人の参加者が集まりました。自由論題では、3名の方々が報告しました。大会プログラムは以下の通りです。

2022年7月9日（土）対面・オンラインのハイブリッド開催

（オンラインはウェブ会議アプリ Zoom を使用）、大会本部：早稲田大学

フェミニスト経済学からみた政治・権力——家父長的世帯主義批判

【座長】大橋史恵（お茶の水女子大学）・板井広明（専修大学）

【趣旨説明】大橋史恵（お茶の水女子大学）

【報告1】藤原千沙（法政大学）

「プロヴィジョニングの経済学と個人・世帯・社会政策」

【報告2】申琪榮（お茶の水女子大学）

「政治権力はどのように再生産されるのか——政治資本としての家父長的イエ」

【報告3】金一珠（早稲田大学／当時）

「「母親国民」と「非国民」——フィリピン人結婚移住女性の市民権と政治参加に関する日韓比較研究」

【報告4】清水奈名子（宇都宮大学）

「東電福島原発事故とジェンダー——被害を増幅させる要因としての格差と差別」

【コメント】金井郁（埼玉大学）、足立眞理子（お茶の水女子大学）

小ヶ谷千穂（フェリス女学院大学）、落合絵美（岐阜大学）

【まとめと閉会の挨拶】板井広明（専修大学）

○自由論題報告

司会：小川真理子（東京大学）

・駒村日向子（お茶の水女子大学大学院博士後期課程）

「家庭空間における賃労働とジェンダー——COVID-19 緊急事態宣言下での女性たちのテレワーク経験から」

コメンテーター：川口章（同志社大学）

・巣内尚子（東京学芸大学、ラバル大学大学院博士課程）

「「私はここで働き続ける」縫製工場から介護施設へ——移住女性にとっての特定技能制度の位置づけと課題」

コメンテーター：大野恵理（獨協大学）

・新倉久乃（フェリス女学院大学大学院博士後期課程／当時）

「エスニック・コミュニティの包摶と相対的剥奪——高齢の在日タイ女性と社会的資源」

コメンテーター：徐阿貴（福岡女子大学）

2 研究会

昨年度同様、2022年度も新型コロナウイルス感染症の流行とその動向に左右され、学会活動もこれまでになく制約を受けました。その中でも学会主催研究会は共通論題シンポジウムの準備として3回実施しました。

今後は、徐々に対面が基本となりつつも、コロナ禍で得られた知見の一つとしてのオンラインでの研究会開催も見込まれます。3年にわたるオンラインを活用した大会・研究会の知見を取り入れながら、これまで以上に研究活動に力を入れていきたいと考えております。

○共通論題シンポジウム事前研究会1 開催日：2022年4月16日（土）

・報告者：

藤原千沙（法政大学）「プロヴィジョニングの経済学と社会政策の課題」

申琪榮（お茶の水女子大学）「政治領域における女性の排除の背景にある構造的問題としての「再生産」について」

清水奈名子（宇都宮大学）「東電福島原発事故とジェンダー——被害を増幅させる要因としての格差と差別」

金一珠（早稲田大学／当時）「韓国における結婚移民女性の政治参加——投票行為を中心に」

○共通論題シンポジウム事前研究会 2 開催日：2022年5月21日（土）

・報告者：

藤原千沙（法政大学）「プロヴィジョニングの経済学と個人・世帯・社会政策」

申琪榮（お茶の水女子大学）「政治権力はどのように再生産されるのか——政治資本としての家父長的イエ」

清水奈名子（宇都宮大学）「東電福島原発事故とジェンダー——被害を増幅させる要因としての格差と差別」

金一珠（早稲田大学／当時）「「母親国民」と「非国民」——フィリピン人結婚移住女性の市民権と政治参加に関する日韓比較研究」

○共通論題シンポジウム事前研究会 3 開催日：2022年6月25日（土）

・報告者：

藤原千沙（法政大学）「プロヴィジョニングの経済学と個人・世帯・社会政策」

申琪榮（お茶の水女子大学）「政治権力はどのように再生産されるのか——政治資本としての家父長的イエ」

金一珠（早稲田大学／当時）「「母親国民」と「非国民」——フィリピン人結婚移住女性の市民権と政治参加に関する日韓比較研究」

清水奈名子（宇都宮大学）「東電福島原発事故とジェンダー——被害を増幅させる要因としての格差と差別」

3 幹事会

今年度は、以下のように6回の幹事会を開催し、その他、必要に応じて幹事会のマーリングリストを通じて学会運営を行いました。

今後、さらなる学会活動の充実を図っていきたいと考えております。

- 第1回 2022年4月16日(土) オンライン(ウェブ会議アプリ Zoom)
- 第2回 2022年5月29日(日) オンライン(ウェブ会議アプリ Zoom)
- 第3回 2022年7月9日(土) 大会後対面開催
- 第4回 2022年8月18日(木) オンライン(ウェブ会議アプリ Zoom)
- 第5回 2022年11月21日(月) オンライン(ウェブ会議アプリ Zoom)
- 第6回 2023年2月9日(木) オンライン(ウェブ会議アプリ Zoom)

(文責:平野恵子)